

津田仙・初・梅子を語る

梅子

近代日本 グローバル人材の 先駆けとなった ファミリー

初

仙

入場無料
要予約

2017年 **11月25日** 土
14:00~16:00 (13:30開場)

会場 名古屋外国語大学5号館1階 511教室

対象 どなたでも参加できます

主催 名古屋外国語大学ワールドリベラルアーツセンター

司会者 篠崎 ひさこ (名古屋外国語大学特任教授)

当日参加も可能ですが、準備の都合がありますので、事前のお申し込みをお願いいたします。右記のQRコードを携帯電話やスマートフォンで読み込んで頂くか、下記URLをパソコン等で直接入力して、申込みのフォームに必要事項をご入力・送信してください。

<https://req.qubo.jp/wlac/form/20171125>



仙は幕末に武道、漢学、蘭学、英学を学び、幕府派遣の外交使節団通弁を務めワシントンDCを訪問。明治4年に日本初の女子留学生として梅子(満6歳)を米国に送り出す。西洋の農学、野菜、果物を日本に普及。女子小学校・耕教学舎(現青山学院)、訓盲院(現筑波大学)などの創設に寄与。禁酒・禁煙や足尾鉍害などの健康・環境問題に関わる。初は、仙との間に12人の子を産み、育てる。次女梅子は、女子英学塾(現津田塾大学)を創立。それぞれがグローバルかつ普遍的な志向で教育や食育に取り組む。人材育成、そしてウェルネスの側面での日本の近代化に貢献したツダファミリーの歴史を、21世紀の視座から仙の曾孫が語る。

講演者

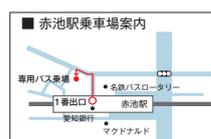
津田 守 (名古屋外国語大学教授)

Profile

名古屋外国語大学教授。大阪大学名誉教授。東京生まれ。曾祖父の仙が創立者のひとりである青山学院の高等部・大学を卒業。フィリピン国立大学大学院に留学、同大社会学科専任講師。大阪外国語大学(教授)、ハーバードロースクール(客員研究員)、大阪大学グローバルコラボレーションセンター(教授)などを経て現職。専門はフィリピン社会、グローバル人流、公益通訳翻訳。編著書論文等多数。

■ 本学へのアクセスについて

当日、本学駐車場はご利用できませんので、公共交通機関または上社駅・赤池駅から専用バス(無料)をご利用ください。専用バスにご乗車の際は、イベントに参加する旨を運転手にお伝えください。



■ お問い合わせ先

名古屋外国語大学
ワールドリベラルアーツセンター
0561-75-2164
wlac_gg@nufs.ac.jp